

地域で支える助け合い

地域の絆「自主防災組織」

大規模な災害が発生した場合、消防や警察などの防災機関だけでは十分に対応できない可能性があります。そこで、大きな力を発揮するのが、地域コミュニティによる防災活動です。

自分たちの地域を自分たちで守るため、自主防災組織の活動などに積極的に参加しましょう。



【自主防災組織】とは？

災害時の初期消火や避難誘導など、住民同士が協力して防災・減災活動を行う組織。

災害発生時

- 初期消火
- 避難誘導
- 情報の収集・伝達など

平常時

- 防災知識の普及
- 防災訓練
- 地域内の安全点検など

自主防災組織結成時に防災用品の支給などの支援も行っていきますので、お住まいの町の防災担当窓口へご相談ください。

受講料 無料

平成28年度 長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座

防災の正しい知識や技術を身につけ、地域や職場の「防災力」の向上に活かしませんか。

- 7月16日(土)～18日(月) 小野ふれあい広場(諫早市黒崎町)
- 10月22日(土)、29日(土)、30日(日) 大瀬戸コミュニティセンター(西海市大瀬戸町)

平戸市薄香浦地区の取り組み

本県の自主防災組織率は、全国平均81%を下回る61%ですが、平戸市の組織率は100%。その中でも積極的に活動しているのが薄香浦地区です。

「非常持出品の常備、防災マップの作成、高齢者や車椅子などの支援が必要な方への連携確認を行うなど、自分たちでできることは自分たちで行うように取り組んでいます」と教えてくれたのは区長で自



防災講習や避難訓練には、多くの住民の皆さんが参加しています



自主防災組織代表の久保田幸男さんです。

地域防災のリーダーとして、養成講座などに積極的に参加している久保田さん

隔月で開催している防災講習も、参加者が飽きないように様々な工夫を凝らしていて、回数を重ねるごとに、地域の皆さんの防災への意識が高まってきたそうです。

「自主防災組織は結成して終わりではなく、災害に備えて、常に活動していくことが大切です。今後は地域コミュニティの柱として、地域の原動力となるようにしていきたいです」と熱く語ってくれました。

日ごろの備えが身を守る

自分や大切な人の命を守るために、日ごろから災害に備えておくことが大切です。今できることから始めましょう。

防災に役立つ情報

- 長崎県総合防災ポータル
災害に関する情報や災害への備えなどの情報をまとめたホームページ
- 長崎県河川砂防情報システム(ナックス)
河川の水位や雨量情報を提供
- 長崎県電子国土総合防災GIS
土砂災害警戒区域や危険箇所を地図上で確認
- 土砂災害警戒情報携帯配信サービス
土砂災害警戒情報をメールでお知らせ



登録は bousai.nagasaki-pref@raiden.ktaiwork.jp もしくは右のQRコードから空メールを送信

自分や家族でできる備え

- 家族で3日分の食料や飲料水、懐中電灯など非常用備蓄品の準備
- 住んでいる地域の危険箇所や避難場所の確認
- 住んでいる地域や県、市町が行う避難訓練や研修への参加
- 家具の転倒に備えて、固定したり、配置を見直す



いざというときに安全に避難できるように、家族で話し合い、準備しておこう!!

地域防災の要「消防団」

県内では、年間500件前後の火災が発生しています。その消火活動には消防署だけでなく消防団も、幅広い年代のさまざまな職種の方々が、日頃の訓練を生かして活躍しています。

人命救助や避難誘導、防災指導など地域において重要な役割を担う消防団ですが、本県の消防団員数は、人口減少や少子高齢化に伴い年々減少してきて、地域防災力の低下



県内の高校3年生を対象にした消防団員による講話(西海市消防団)

が心配されています。県では、地域における消防団活動への支援、女性や若者の加入を促す取組により、安全・安心で暮らしやすい長崎県づくりを進めています。

入団や活動内容はこちら

各市町消防団窓口または、
県の消防保安室
☎095-895-2146

ながさきの消防団 検索